

科目名	美術		英文表記	Fine Art		平成23年度3月		
科目コード	1013							
教員名：田仲康嗣 技術職員名：						作成		
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科			1年	選	履修	1単位	実習	後期
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合				
	課題制作を通して、個性的な発想と想像力の基礎的な力を身につける。			実習主体なので定期試験は行わない。				
	実際に手を動かし画材を扱うことで、自己表現をする楽しみを経験する。			授業出席、授業に対する取り組み方、課題作品の提出と作品の出来により評価する。				
	イメージを形にする基礎的な工作力をつける。			授業出席、授業に対する取り組み30%、課題提出に20%、課題ごとの作品評価に50%の割合で評価する。				
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称			
		◎		○	JABEEプログラム教育目標			
授業概要、方針、履修上の注意	観察を主体としたスケッチや、イメージ・ドローイング。印刷物をコラージュして新しいイメージの画像を作る。身近な造形素材や画材を用いて、自由に造形表現することにより、発想を柔軟にし、個性的な表現方法や発想力、想像力をつける							
教科書・教材								
授 業 計 画								
回数	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				予 習 項 目	
1	授業ガイダンス及びドローイング	2	授業の進み方の説明。身近なものを描く。					
2	スケッチ・ドローイング	2	いろいろなテーマを授業日毎に設定し、様々な画材を用いて実在するものやイメージを描く。					
3	スケッチ・ドローイング	2	” ”					
4	スケッチ・ドローイング	2	” ”					
5	スケッチ・ドローイング	2	” ”					
6	スケッチ・ドローイング講評	2	スケッチ・ドローイング作品の講評・鑑賞会					
7	コラージュ	2	印刷物から受けるイメージを構成する。					
8	コラージュ・ミクストメディア1	2	印刷物や様々な素材を貼りこみ作品化する。					
9	コラージュ・ミクストメディア2	2	” ”					
10	コラージュ講評	2	コラージュ作品の講評、鑑賞会					
11	装身具を作る1	2	針金を用いて個性的な装身具を制作する					
12	装身具を作る2	2	” ”					
13	立体工作1	2	幾何形体を作る					
14	立体工作2	2	” ”					
15	装身具・立体工作講評	2	装身具・立体工作作品の講評、鑑賞会					
	後学期期末試験							
学習時間合計		30	実時間				25	
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 記入不要→この科目は履修形態のため、この欄の記入は不要								

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。（50分＝1、100分＝2）